



寿都町
病児保育室

なないろだより



発熱時のケアのポイント



お子さんが小さいうちは、熱が出るとそれだけで心配になりますよね。今回は家庭での発熱時のケアのポイントをご紹介します。なないろでも、お子さんの様子に注意深くみながら、少しでも楽に過ごせるようにしていきたいと思っています。

衣服や寝具を調整しましょう

◎熱の上がり始め

手足が冷たく寒く感じる
1枚多めで暖かく



◎熱が上がり切ったら

手足やからだが暑く感じる
薄着にして嫌がらなければ冷やす

脇の下

首

足の付け根

冷やすといい場所

あくまでも本人が気持ちよく過ごせることが一番なので、嫌がる時は無理して冷やさなくても大丈夫です。

解熱剤を効果的に活用しましょう

- ・水分が摂れない時
- ・ぐずついて眠れない時
- ・ぐったりして辛そうな時



このような時は解熱剤で一時的にからだを少し楽にしてあげましょう。この間に水分補給や睡眠を促します。

なないろでは解熱剤等のお薬もお預かりしています。入室時に保護者の方のご意向を確認の上、お子さんの様子を見て使用します。

水分は小まめに摂りましょう

体内の水分を汗に変えることで、体は熱を下げようとしています。水分をいつも通り摂れることが、元気があるかどうかの目安にもなります。



高熱が脳に影響することはあるの？

高い熱そのものが脳にダメージを与えることはありません。脳炎・脳症を起こす代表的なものはインフルエンザ脳症や髄膜炎がありますが、これは熱が高いから起こるものではなく、病気そのものによって起こる病気です。

保育の様子

あれ？なんか車が違うよ～笑



ば～♡



じゃーん♪



<利用状況>

4月は33名、5月は21名のお子さんのご利用がありました。主な病名はこちらです。

- ・かぜ
- ・中耳炎
- ・副鼻腔炎
- ・インフルエンザB
- ・アレルギー性鼻炎
- ・アデノウイルス
- ・溶連菌感染症
- ・骨折
- ・胃腸炎